東由利村報

No. 100　1965・10・20

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

第5回定例村議会

補正予算468万8千円

第5回定例村議会は、9月30日招集され、一般質問についで次の議案を審議、いづれも原案どおり可決した。

議案

第1号、専決処分の承認を求めること

第2号、秋田県町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約

第3号、昭和40年度東由利村一般会計補正予算

第4号、昭和40年度東由利村玉米財産区特別会計補正予算

第5号、昭和40年度東由利村簡易水道事業特別会計補正予算

第6号、教育委員会の委員の選任について同意を求める

議案第3号による、予算補正額は、才入才出共に468万8千円を追加し、才入才出予算の総額をそれぞれ143,105千円とする。

才出の中の重なるものは、村有林補植・八塩ダム桜ツツジ植樹費359千円（以下単位千円）

○火葬場整備工事費48○林業費、軽井沢2号橋（舟打場）杉森橋・沼線・軽井沢線など1,811○消防費、第3・1分団ポンプ置場移転修理85、横渡防火水槽補助100○教育費、定時制下郷分校補助78、小学校給食費補助など127、中学校同191、○災害復旧費総額1,063、

内訳①道路、一ノ沢線ガリ沢35茂沢線ガザ平50、跡見坂10、大釜線大釜45、土場沢線須郷50、玉米矢島線56、地下ノ沢線30、石高線45、外荒沢20、法内桂台17、八塩線15、檜沢線10、日照坂50、

②橋、五兵工橋200、ガザ平橋50、要八橋160、下ノ橋30、二本橋100、山谷橋50、中の橋30、

議案第4号は才入才出それぞれ7万円を追加して、総額864千円とする

議案第5号は才入才出それぞれ622千円を追加して総額1,451千円とする

議案第6号は、宿字大琴佐々木君三氏の任命に同意

○　陳情書

1雁沢部落会館建設について採択はするが、財産区との関係もあり、よく研究する

2、大吹川佐藤好男氏よりの架橋費援助陳情

採択、実情を調査して善処する

3、定時制下郷分校主任よりの講師手当追加更生願い

採択

4、玉米農協より設備の投資に対する補助の陳情について

採択、討議の上次のとおり決定

1、本案は区域住民の要望もあるので採択することを適当と認む

然しながらこの計画をつぶさに検討するに、比較的不急不要と認められる施設も含まれて居るものと思考せらる

玉米財産区の財政必ずしも裕福ならず、今後財産区にたよらなければならない事柄が山積している現況にかんがみ財政を圧迫しない範囲に於て財産区とよく相談の上、適当額を捻出せられたい

而して農協全理事の言わるる如く組合の将来を考え、直ちに東由利農協との大同合併を望む。

昭和40年度 村税完納報償金

新らしい村が発足して以来10年、着々と明るい村づくりが進んでおり、村税の納付状況も遂年向上して参っておりますが、全部落完納（組合完納）まであと一息の努力が必要です。

皆さんも新聞などでご承知のとおり、井川村では昨年すでに村税100%完納の実績をあげております。納税成績は村民が村政に積極的に協力する姿と見ても差支えなかろうと思われる。村では新村発足以来、村税の年度末部落完納報償金制度を設けて、納税成績の向上をはかって来ましたが、この制度も10年を経過した今日、今までの漫然とした年度末の部落完納のあり方について再考する時期に来ているものと考え、40年度から税本来の姿勢である納期内完納を助長する意味を加えた制度に改めることにして、今春以来部落長（組合長）を通じ、又は印刷物を配布して、次の三つに区別することを皆様におつたえして来ましたが、今月は第2位完納報奨金該当部落決定の月でもありますので、この趣旨を充分理解されてご協力いただくことを村では期待している。

新しい組合完納報償制度

第1位

組合全員が各税共、年間を通じて納期内完納をした場合、

第2位

組合全員が10月末までに納期の来た各税を完納し、残りの税金を3月末日までに完納した場合

第3位

組合全員が従来のような形で、3月末日まで各税共完納した場合、

以上の三つに区分して取扱いますので、納期内完納を果している部落は最後まで、その他の部落は第2位に該当するよう10月末日までに納期の来ている村税は全部完納されたい。なお10月末日まで納期の来ている村税は、次のとおり

◎村県民税第3期分まで

◎固定資産税第3期分まで

◎軽自動車税、全額

◎木材引取税、賦課済みのもの全額、

◎国民健康保険税第2期分まで、（税務課）

税務署だより

1、青色申告のおすすめ

納税者が自分で所得金額を計算し、申告するという本来の申吉納税制度を推しすすめるために、税務署では青色申告の普及育成、中小企業えの税務指導に力こぶを入れて来ましたが、さらにその前進をはかるため、今年は10月上旬から12月中旬までの期間を「青色申告普及推進期間」と定め「青色申告のおすすめ」の運動を実施することになりました。

日頃から青色申告をしようと考えておられる方は、ご遠慮なく当署直税課の青色申告の係にご相談下さい。

2、申告所得税

第2期分は11月30日が納期限

11月は天高くみのりの豊かな季節です。

また申告所得税第2期分（農業の方は前期分）の納税時期です。

11月30日まで、あなたも、私も完納いたしましょう。

3、密造酒

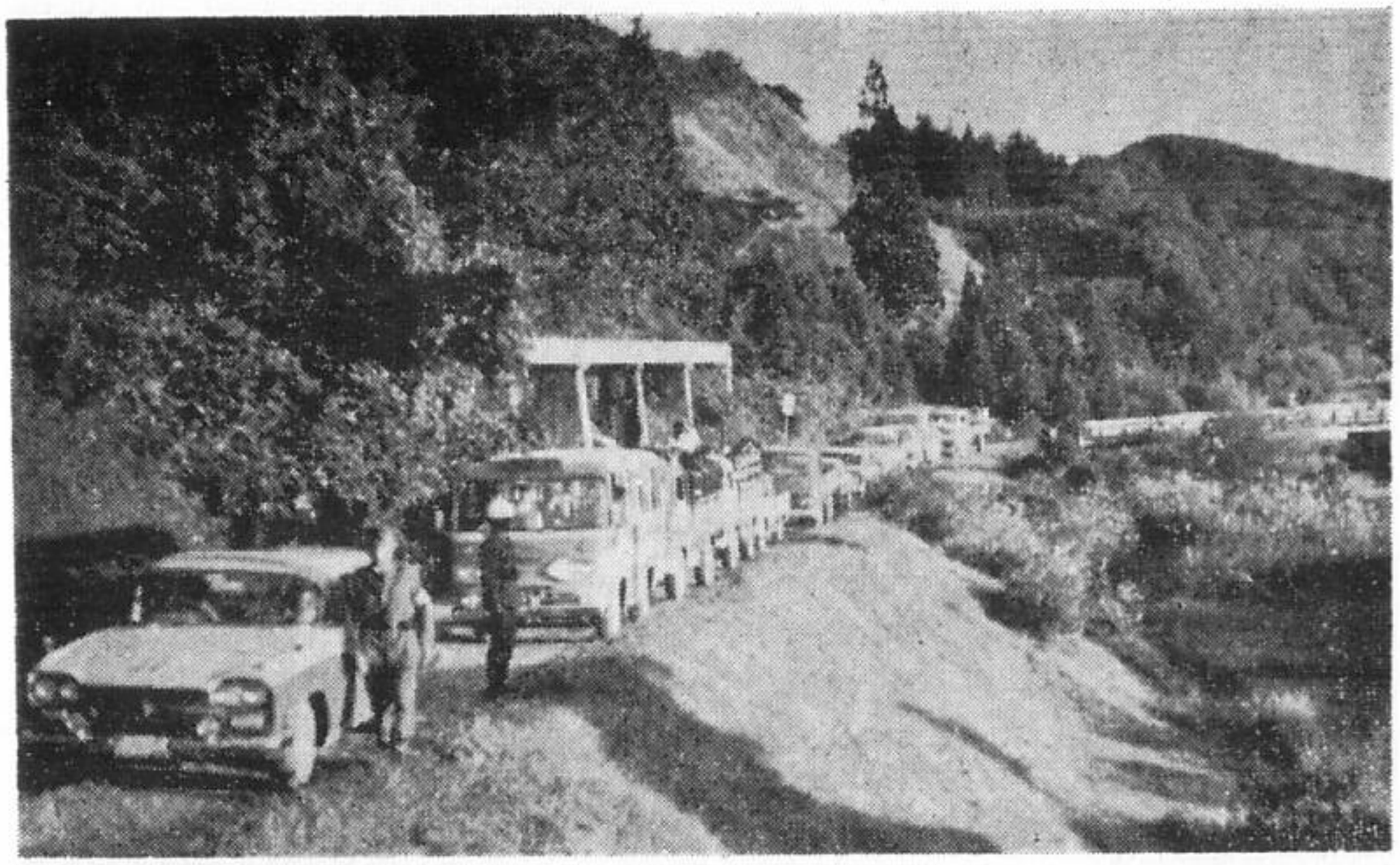
密造酒、飲むまい、買うまい、つくるまい。

特設人権法律相談

とき、10月28日、10時～4時

ところ、東由利村役場

秋田地方法務局本荘支局より係管3人がまいります。



自動車・中学パレード

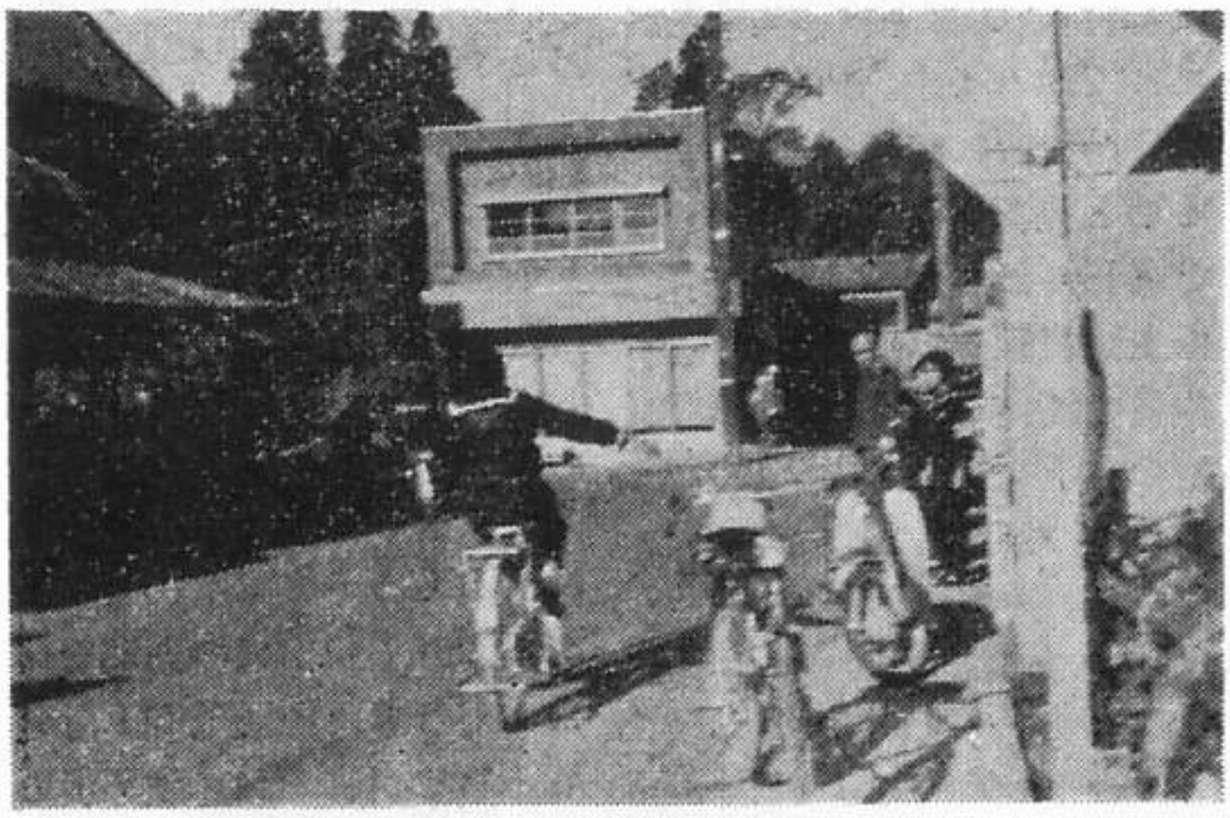


写真　中学生の街頭指導

全村体態制確立

秋の交通安全運動

今年の秋の交通安全運動は去る９月25日から10月４日までを期間として、全県一斉に行われた。

これは人命尊重の見地から特に歩行者の交通事故絶無を目標として、すべての歩行者運転者に正しい交通ルールを守ることを習慣つけると共に道路交通環境の整備改善をうながすことを目的とするものです。

本村でもこの趣旨にそい、いまだかってなかった程の熱意をもってこの運動を実施した。

先づ警察を中心として、役場、村交通安全協会、婦人会本荘高校下郷分校、中小学校等を含む全村一体の総合計画をたて、この計画に従って整然と実施された。

実施事項の重なるものは、たれ幕の掲示、黄色い羽根運動、自動車バイクによるキャラバン広報などで、一方各学校では、ポスターの掲示、チラシの配布などにより全村民に呼びかけ、両中学校では交通教室を開き、街頭交通指導を行った。老方小学校では、９月30日鼓笛隊による街頭広報行進を行い、10月１日の「交通安全県民総参加の日」には村交通安全協会の自動車キャラバン広報に、下中ブラスバンドが参加して、大琴・住吉間をパレードし、別に下中では交通標識をたてた。

一方青年会では、館合・老方蔵・横渡の国道に横断歩道の標識と道路案内標識をえがき10月３日本荘市で行われたバイクラリー（安全運転）に参加第２位となった。

実施後の反省会から

昨年来、交通安全に関する村民の意識が高まって来た、特に各学校の積極的な協力によって著しく効果があがって来たが、近く国道の全面舗装が完成した場合の交通量の急増を考えると、決して気をゆるめるわけには行かない。少くとも「人は右車は左、道路で子どもを遊ばせない」という習慣は舗装完成の前にぜひつけて置かねばならないので、運動期間だけでなく、常時この運動をつづけるよう、今回の態制をくづさないように努力しなければならぬ。

出稼の方は

就労手帳をぜひ

就労手帳には雇用契約書を始め、出稼に関する一切の手続や注意が書いてありますので、これに記載したものは法的にも有効ですから、安心して就労することが出来ます殊に今年は労働条件が思わしくないとかろがあるということですので、ぜひお持ちになるようおすすめいたします。

戦没者叙勲に関する勲章並びに勲記の伝達

この度は去る４月～７月の４カ月間に叙勲の発令があった分で、勲章並びに勲記の伝達式は10月14日午後２時から役場で行われた。氏名は次のとおりです。

旭八上等兵林吉男、西の浜義兄千代松○旭七陸軍属大庭光保、蔵父三保蔵○旭八衛生兵長渡辺忠吉、田代母キクエ○旭八上等兵横山富蔵、黒淵姪ケイ子○旭八上等兵遠藤寿一宿母ナツエ○瑞八木島寿一郎蔵弟久勢○旭七兵曹長佐藤金之助、老方母クニエ○旭七伍長佐藤政次郎、老方父浅吉○旭七伍長古関市助、舘合義妹ミエ○瑞七陸軍属大庭三男、宿兄勇○旭八伍長木島元索、老方兄好元○旭八兵長小松与惣治、館合父与惣右工門○旭八上等兵大場林二郎、館合父佐市○旭八上等兵木島四郎、法内兄富三○旭八一等兵伊東徳造、蔵父慶太郎○旭七一等飛行兵曹梅津栄男、宿母ヤス○旭七一等主計兵曹阿部富松、法内弟富三○旭八二等兵曹鈴木正孝、宿母トモヨ○旭八水兵長佐藤清助、田代母タマヨ○上等機関兵曹畠山頭雄、黒淵母マサノ

共同募金

今年の赤い羽根共同募金の県日標額は、2,910万円で、昨年の2,650万円より260万円上廻っており、従って当村の目標額も昨年の203,780円より15,820円多い219,600円となっておりますが、村民みな様の理解あるご協力によって10月15日現在64部落中30部落からすでに募金が届けられており、この分では例年どおり早期完遂が出来るものと深く感謝しております。

なお募金の４割は村福祉協議会に配分されますので、福祉団体の育成や恵まれない方々の援護のために大きく役立っております。

まだまだ等級が上る

すばしらい早場米の成績

低温障害のため、みのらない稲が出来て心配されていた今年の米が、10月13日の第２期早場米の締切りにおいて、これまでに例を見なかったすばらしい成績を示して、関係者をおどろかしている。

それは、出荷総数１万２千余俵のうち、上位等級（１、２等）が８１８４俵で、全体の64％をしめており、下位等級（４、５等）は、僅かに130俵、１％にすぎないということである。

なお食糧事務所の話では、次のようなことに気を配れば まだまだ等級があがるとのことです。

①調整が悪いのでもどされたものがかなりある。それは米の中に籾がまじっていたためで、籾すりをもっとていねいにやること。特にミふじみのりミにそれが多い

②俵装について～ゆわい繩のしめ方が一般に不十分であるが、玉米、蔵地区のものが殊に多い。

苦労に苦労を重ねた今年の米の最後の仕上げです。どうかもう一息のところがんばって下さい。

等級別検査俵数

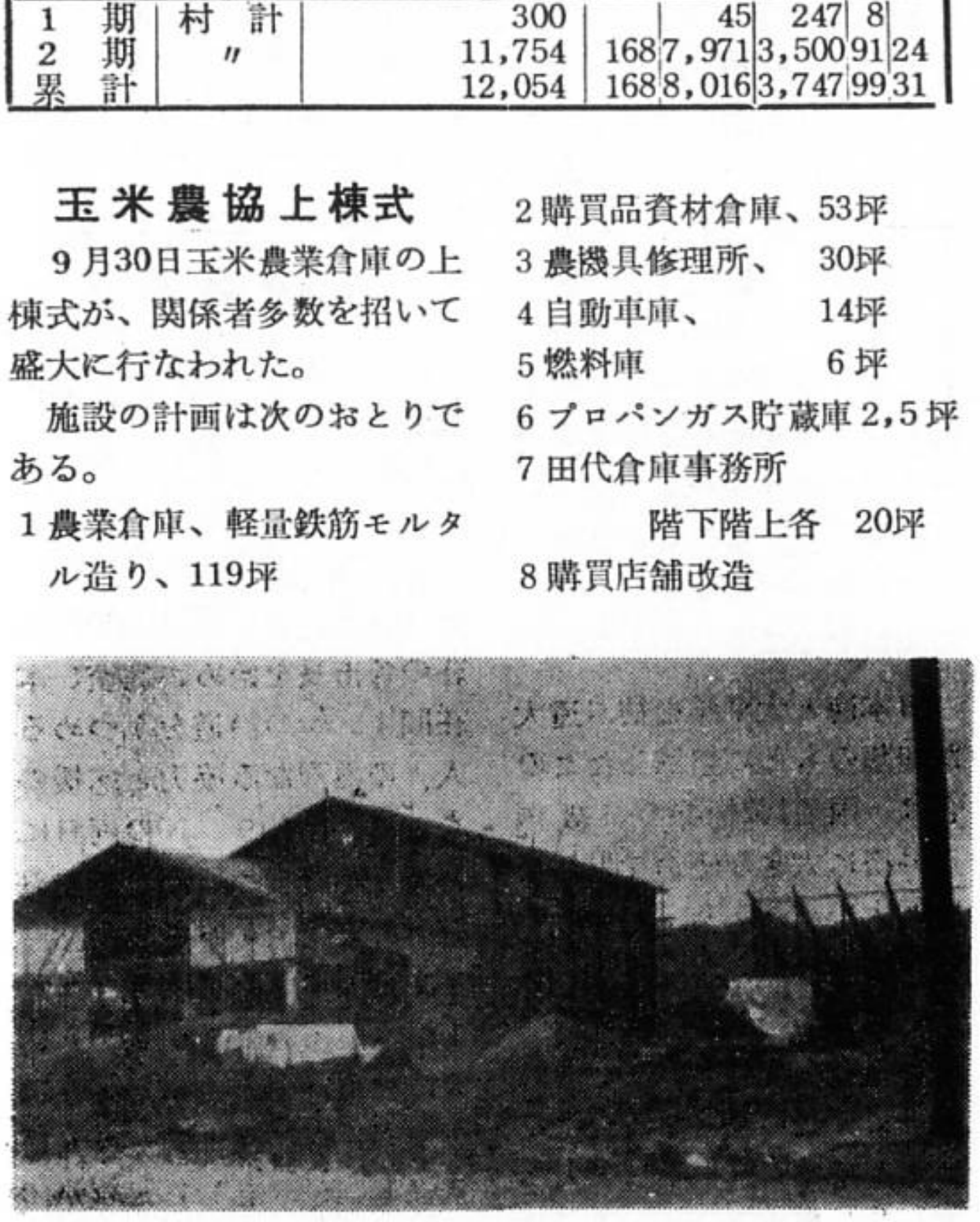
期別	地区	検査総数	等級内訳 1	2	3	4	5
1期	玉米	79			79		
2期	〃	4,162	52	2,812	1,242	48	8
累計		4,241	52	2,812	1,321	48	8
1期	下郷	221		45	168	8	
2期	〃	7,592	116	5,159	2,258	43	16
累計		7,813	116	5,204	2,426	51	23
1期	村計	300		45	247	8	
2期	〃	11,754	168	7,971	3,500	91	24
累計		12,054	168	8,016	3,747	99	31

玉米農協上棟式

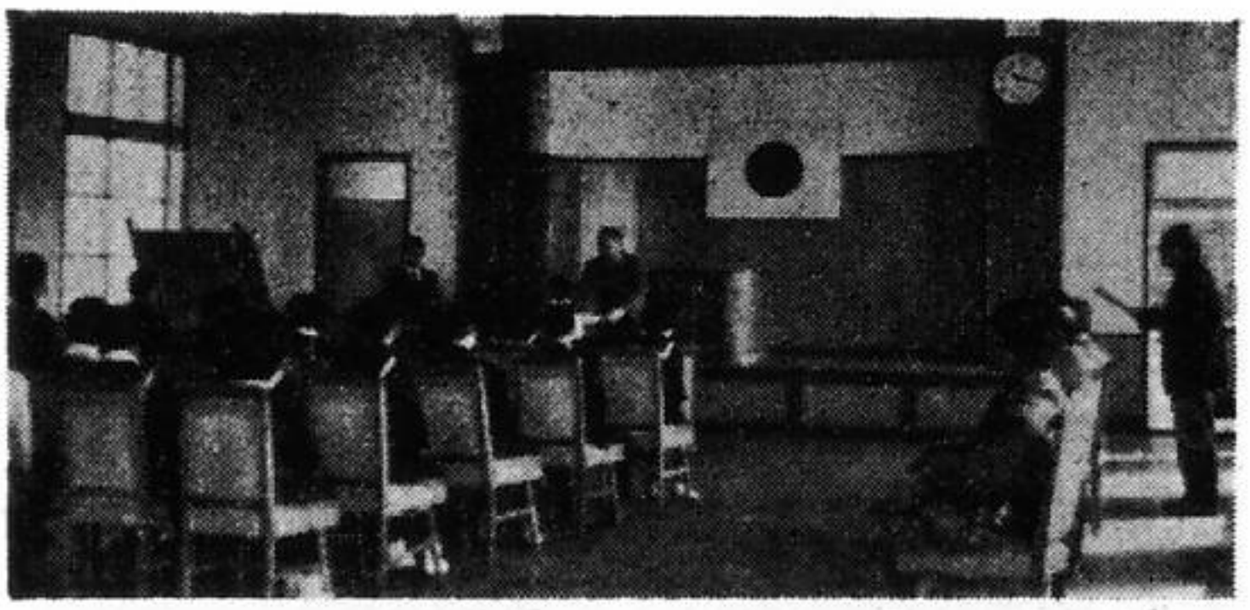
９月30日玉米農業倉庫の上棟式が、関係者多数を招いて盛大に行なわれた。

施設の計画は次のおとりである。

1 農業倉庫、軽量鉄筋モルタル造り、119坪
2 購買品資材倉庫、53坪
3 農機具修理所、 30坪
4 自動車庫、 14坪
5 燃料庫 6坪
6 プロパンガス貯蔵庫 2,5坪
7 田代倉庫事務所
　階下階上各 20坪
8 購買店舗改造



工事中の玉米農協



ひろい物を警察に届けた子どもの村長表彰

10月13日、昭和39年度中にひろい物を警察に届けた小中学生20名に対する村長表彰が関係学校長・教育委員長・公民館長その他教育関係者参列のもとに行われた。

表彰を受けた者は、

○玉米小学校
佐藤和広・小松満・菊地宏靖
工藤次男・小野正文

○老方小学校
畠山豊・小松喜子・佐藤サヨ
小松伸子

○蔵小学校
阿部芳子

○玉米中学校
八島千鶴子・荘野和幸・小松ミドリ

下郷中学校
石渡正・木島マス子・遠藤富夫・遠藤キヨ子・畠山裕子・小松和子・小松敏

表彰状

あなたは昭和39年度中に、ひろい物を警察に届け出られましたことは、まことにうるわしい行ないで、人の心にともる美しいともし火となって、明るい世の中がつくられて行くことを思い、心からなるよはこびをもって表彰いたします。

昭和40年10月13日
東由利村長阿部直一郎

大型特殊免許試験

10月14日午前９時より、台山馬検場で行われた。

これは最近農業機械が大型化して来ており、当村においても農業近代化のため、大型機械を導入することになっているが、大型特殊免許の取得者がなく、免許をとるためには秋田市まで行かねばななないので、村では県公安委員会に出張試験をお願いしたものである。

試験の結果
学科試験受験者、14人
内合格者、１人
実地試験受験者、45人
内合格者、26人
合格率 56.5％

10月の税金の納期

村県民税　第３期分

固定資産税　第３期分

◎10月に発せられる督促状
国民健康保険税第２期分
◎税金は納期内に納めるよう

正面右小野仁助氏

小野仁助氏に聞く

10月13日午後3時から東由利農協で、村長、議長、助役外役場職員の一部と、農協職員とで、目下帰郷中の小野仁助氏の村全般に対する意見を聞いた。

小野氏は当村下吹の出身東京秋葉原に手広く電気機具商を営んでいる小野電業社長で、村内の学校、橋、その他の施設に多額の寄附をつづけ郷土開発に非常な熱意を持っている方である

お話の要点は

○村政の一番大事なことは、という問いに対し、ただ一言「和」と答える。

○私の一番不思議に思うことは、農協を合併しないことだ飛行機から見れば、小皿のようなこんな小さな村でなんで二つに分れていなければならないか？

○農協の仕事は良い品を安く手に入れて組合員に安くくばることが第一だ。そのためにはなるべく大きくまとめて、現金で買うことだ。そうすれば少くとも3割は安く手に入れることが出来る。

○農協で扱う品物は、食糧品と衣料位が主で商売としては極めて簡単だ。

○村に帰って見て道路のよくなったのにはおどろいた。やれば出来る村だ。農協合併さえ早くやれば、運転資金のことは考えよう。

○なお、宿小学校には設備資金として30万円を寄附し即日帰郷した。

名前あれこれ

誰でも可愛いい子どもの名前は感じのいいものを…と苦労するもの、だが、せっかくこうつけようと考えて来た名前が「この名前はつけることが出来ません」と窓口でことわられることも珍らしくない

これは名前につける漢字は当用漢字と人名用漢字以外の漢字ではいけないことになっているからです。

例えば、梨恵子、悠子、沙代子などはそれぞれ梨、悠、沙がつけられないためことわられるということになる。「何とアバあの名前つけるコッタバ大した銭コかがるド」と家に帰ってからいった人があるとかないとか。もちろん戸籍係はそんなこといわないしいくら金を出したってできないものはできない。

ところで女の子の名前は一昔前の「○子」一辺倒から大分かわって来たといわれる。さゆり、ゆかり、みゆきなどの平かなや、「○美」型、それに昔の3音節にかわって、恵美、由美などの2音節型も流行のうち、どんな理由で名前をきめるかは、昔も今もかわりなく、意味を重んずるものが大半、書き易い、読みやすい、ひびきがよいなどの理由でというのがふえて来た。

酒の密造をやめよう

前号での中学女生徒の作文は、わるいと知りつつドブロクを造る大人はバカに思える母さんが絶対につくらなければ、ドブロクはなくなる。そして秋田県はもっと明るいりっぱな県になる。と、いっている。誠に父さん、母さんは、お互に考え直さなければならないことだと思う。今回の作文も中学女生徒のものです。

≒密造酒をなくしましょう≒

日本で密造酒を多くつくっている地方は、東北地方であるといわれている。

その中でも秋田県が1番多く、11万4千俵もの米を使って密造酒をつくっている。だから秋田県は「密造王国」と呼ばれている。はずかしくないのだろうか？

それに、密造酒をのんでいると長生きもしなくなり、子どもの学校の成績も悪くなるといわれている。

長生きをしたかったら、子どもの成績をよくしたかったら密造酒づくりをやめること。

そしてそのお金で、学校やその他の設備をととのえ、住みよい村にしてもらいたいと思います。

総牛馬検査を行います

村では、秋田県牛馬籍取扱い条例に基づいて、11月中旬総牛馬検査を行います。

この検査は飼育牛馬と、牛馬籍簿との照合を行い、その移動を整理するとともに牛馬の動態を明確にし、畜産行政の資とするための重要な意味を持つものでありますから必らず受検して下さい。

なお、検査日程は追って部落へ連絡しますが、移動後届出を済ませておらない方は、検査当日混乱を起こすことのないよう、至急届出を済ませるよう願います。

奥羽横断駅伝競争

日本海と大平洋を結ぶ遠大な理想のもとに発足したこの会は、国道107号線の一級国道昇格に大きな使命を果して意気大いにあがり、本年その第5回をむかえた。

本大会は、両県の体育振興はもちろんのこと、広く両県の親交を通じて、経済文化の交流と発展に資すること大なるものがある。

本年は参加11チーム（岩手8秋田3）、北上、横手、本荘の各市長を始め、北上、本荘間130㎞の沿道をうづめる人々の熱烈なる協力と応援のもとに、10月9、10の両日にわたり熱戦をつづけ、新記録続出の好成績をおさめた。

2日間の総合成績

1位盛岡市体協	6〃50〃10
2位秋田自衛隊	6〃56〃14
3位岩手郡体協	7〃11〃19
7位本荘市	7〃32〃10
8位横手・平鹿	7〃34〃00